

令和7年度釜石市漁業集落排水事業会計決算の概要

1 収益的収入及び支出（消費税及び地方消費税抜き）

区分	令和7年度（円）	令和6年度（円）	増減（円）
収入決算額	51,250,213	52,109,430	▲859,217
支出決算額	51,784,643	51,538,702	245,941
収支差引額	▲534,430	570,728	▲1,105,158

※令和7年度収支差引額は534,430円（前年度比193.6%減）の当期純損失を生じ、当年度未処分利益剰余金は390,683円となった。

2 資本的収入及び支出（消費税及び地方消費税込み）

区分	令和7年度（円）	令和6年度（円）	増減（円）
収入決算額	11,023,800	10,662,700	361,100
支出決算額	18,663,528	18,301,774	361,754
収支差引不足額	7,639,728	7,639,074	654

※令和7年度収支差引不足額7,639,728円は、過年度分損益勘定留保資金7,639,728円で補てんした。

3 業務量及び経営指標

業務量	単位	令和7年度	令和6年度	増減
処理区域内人口	人	845	868	▲23
水洗便所設置済人口	人	480	492	▲12
水洗化率	%	56.8	56.7	0.1
有収水量	m ³	40,951	40,983	▲32
経営指標	単位	令和7年度	令和6年度	増減
経常収支比率	%	99.0	101.1	▲2.1
経費回収率	%	39.8	40.9	▲1.1
汚水処理原価	円/m ³	461.1	445.9	15.2
管渠老朽化率	%	0.0	0.0	0.0
管渠改善率	%	0.0	0.0	0.0

※経常収支比率は、下水道使用料や一般会計からの繰入金等の収益で維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表す指標であり、100%を下回っている場合は単年度収支が赤字であることを示している。

※経費回収率は、下水道使用料で回収すべき汚水処理費を使用料でどの程度賄えているかを表す指標であり、汚水処理原価は有収水量1m³あたりの汚水処理に要した費用である。汚水処理原価が高くなれば、経費回収率が低くなり、経営の効率性を低下させる要因となる。

※管渠老朽化率は、数値が高いほど施設の老朽化が進んでいることを示し、管路更新率は管渠の更新ペースや状況を把握する指標である。改築等の財源の確保や経営に与える影響等を踏まえた分析を行い、経営改善の実施や投資計画等の見直しなどに取り組む必要がある。